



和歌山県岩出市で歯科
医院を開業している青
木氏を訪問し、お話を
伺いました。

訪問日：令和2年1月18日



青木隆典

あおき たかのり

昭和61年(1986年)
智辯学園和歌山高等学校卒業
平成4年(1992年)
朝日大学歯学部卒業
平成9年(1997年)
青木歯科医院開業

和歌山市出身
昭和42年(1967年)生
妻、2男、1女の5人家族

在学当時の様子と、ど
んな生徒だったか教えてく
ださい。

優等生という感じではありませんが、どちらかというと普通にまじめな生徒だったと思います。

で探し、大阪歯科大学が岐阜の朝日大学だったので、両方受験しました。大阪歯科大学の試験問題は無茶苦茶難しく、「こんな通るわけない。」と感じました。次に朝日大学を受験したら、スラスラ書けたので「こっちは合格できるかな。」と思いました。そして最終、朝日大学に進学することになりました。

家が和歌山市内なのに、 どうして岩出市で開業す ることになったのですか？

それは、ここに親が所有する土地があったからです。新たに土地を買って開業したらそれだけ開業費用がかさむので、親が所有する土地を借りようと思ったのです。実は、貴志川にも土地を所有していたのですが、貴志川は同級生が僕の1年前に開業していたので、岩出にしました。

1年違う？卒業と同時に 開業では？

僕らが卒業した頃は6年間勉強して、国家試験に合格しても、技術が身につけていなかったのです。大学に附属病院があったのですが、患者の数がそれほど多くなく、学生に診せるほどの患者さんはいな

かった。もっと上の年代の先生であれば、学生時代に何症例か治療をしなければいけなかったのですが、ある程度技術もある方もいてすぐ開業できたのですが、僕らの学生時代はそうではなかったため、一度就職して経験を積む必要があったのです。それで卒業後は、大学の先生の知り合いの岸和田にある歯科医院を紹介してもらい、5年働きました。そこで5年間勤めて、29歳の年に開業しました。

開業してどうでしたか？

今と違って、歯科医院は積極的に宣伝などの広告や内覧会などやらない時代だったので、開業して1回チラシを出しただけです。それでも患者さんは来てくれました。

経営は安定している？

10年くらい前から広告も必要と考え、力を入れたのが特殊な治療をやっています。それは「かみ合わせ治療」と「ホワイトニング」です。開業当初は地域医療専門だったのですが、地元の人を中心に来院してくれていましたが、かみ合わせの勉強を始めてからは他県などからも足を運んでくれるようになりました。かみ合わせ治療は、31歳頃から勉強をはじめたので、20数年やっ

当時、僕らの学年は2クラスで、高2で理系と文系に分かれるのですが、高1で理系と文系にほぼ分かれた状態でした。僕は元々数学が好きだったこともあり、理系を選択し「理系のA」クラス。担任だった吉本先生が好きだったこともあり、楽しい学生生活を送ったことを覚えています。

なにかエピソードがあれば 教えてください。

もう時効だから言いますが、高1か高2の夏期講習で、昼休みに学校を抜け出し、黒江の友人の家にいき、お菓子やごはんを食べ、それからまた学校に戻る。などをしていました。

その他にも、クリスマスパーティーとかやったりした思い出があります。

先生との思い出を教えてください。

好きだった吉本先生の結婚式に行きたかったのですが、行けなかったのは残念な思い出です。ただ、当時憧れだった英語の先生が結婚するときに、その日がちょうど休みの日だったので、友人と10人くらいで、「サプライズをしよう」ということになり、皆で式場に行きました。

式場に向かう途中で花束を購入し、式場では係りの人に生徒であることや、サプライズをしたい旨をその場で話して許可をもらい、なんとか中に入れてもらうことができた。先生を驚かすことができました。それが一番の思い出ですかね。

その先生は1年くらいい かないかった先生では？

そうですね。短い期間でしたが、職員室へ行っては横で勉強させてもらったりとかしました。デビュー当時の中森明菜みたいな魅力的な先生で、ファンの1人でした。先生方の中にもファンがいたようで、僕が行くと邪魔なのか訝しがられました(笑)

クラスの雰囲気はどう でした？

同級生は仲良かったですね。とても楽しく充実した高校生活でした。小・中・高・大学生活と比べても一番楽しかったのは高校時代ですね。

友達も多かったし、体育祭や文化祭にしても、ある程度中心となって動いていた感じがありましたし、何よりも吉本先生が好きだったので大きいと思います。

また、ここの医院だけではなく、他府県にも広めていきたいと考えています。まずは堺市にかみ合わせ専門の分院を近々開業予定です。それが軌道に乗れば、他の県への進出も視野に入りたいと思います。その他、「ホワイトニング」についても、もう少しボリュームアップしたい。ここが少し手狭になってきて、患者さんに迷惑をかけているので、近くに広げてよい土地があれば移転も考えています。

これまでうまくいかな かったことはありますか？

人の問題でしょうか。スタッフが続かないのです。今もそうですが、僕が厳しすぎるのかもしれない。しかし、スタッフの準備や片付けで、患者さんを待たせたりすると、少しきつく言ったりするところがある。今の時代そういうところが厳しいのになって思っています。

人の問題はめぐりあわせ もありますよね。

最後に、社会人の先輩として何か一言。

友達も大切ですが、僕は「いざとなったら一人でもやっていける」

「両親ともに歯科とは違
う職業のようですが、い
つごろから歯科医を目指
したのですか？」

中学のときから、おぼろげながら病気やケガなどを治療する職業にあこがれていました。

地元にも残ってたかったし、和歌山でドクターを目指すなら、和医大かなと考えていました。それともう一つ夢があったのですが、地元が好きなので、地元に残りアロチなどの繁華街でバーを経営することです。しかも学生オーナーになりたいと思っていました。なので、和医大に通いながらバーの経営者になるのが夢でした。医大生は勉強で忙しく、そんな余裕はないとは思いますが、当時はそんなことを考えていました。

しかし医者を目指していたわりには、僕の勉強は一夜漬けが多く、覚えていると思っても3年になると徐々に忘れていくことが多くなっていくのです。

結果、入試では共通一次でそこそこの点数しか取れなくて……。そこで挫折してしまいました。ドクターは厳しい状況になり、それなら歯のドクターを目指そう。公立の歯科大を探したのですが僕の共通一次の点数ではなかなか難しく、ならば「関西から近いところ」

という自信が基本にあります。一人だったとしても、「何とかやっていけるだろう」という自信があったので、友達と一緒に何かをやっていた。勉強とかになれば「一人で集中して」やっていた。という感じでした。大学時代も友達がたくさんいましたけど、考えは同じでした。

「仲間です」と仲良く一緒に「っていうのもいいですが、最終的には一人でもできるように心がけてほしいです。それだけ、強くなりたい」といいたくない」ということ



◆青木歯科医院
〒649-6246 和歌山県岩出市吉田 257-1
◆フリーダイヤル：0120-11-5599
◆TEL：0736-61-0889
◆URL：https://aokishika-wakayama.jp/
◆受付時間：9:00～12:30 15:00～19:30
(土曜午後・日曜・祝日は休診)

